

# 易観国際 中国 IT マンスリーニュース

2015年6・7月



## 目次

モバイルゲームストア、圧倒的人気は騰訊.....	2
オンライン家族旅行予約動向、4分の1が海外へ.....	2
ネット食品デリバリーサービス、大学市場は二強が制覇.....	3
ネット食品デリバリー、会社員の利用3割に.....	3
モバイル決済、第1四半期は3兆元に迫る勢い.....	4
映画観賞券の販売、オンラインが45.8%占める.....	5
電子書籍市場、オーディオブックに注目集まる.....	6
騰訊：第1四半期の売上224億元.....	6
陌陌が好調、モバイルからの売上20741%の増加.....	7

易観国際 中国 IT マンスリーニュースは易観国際のアナリストによる中国のIT業界に関するレポートを日本語化して配信しています。易観国際は中国におけるIT業界の最大規模の専門家チームとして、多くの中国企業・外資企業のコンサルティングや調査プロジェクトに携わっており、中国のIT動向について幅広く研究・分析を続けています。クララオンラインは日本における易観国際の独占的なパートナーとして、日本語での最新の中国の情報をご提供し、皆様の中国における活動をサポートします。

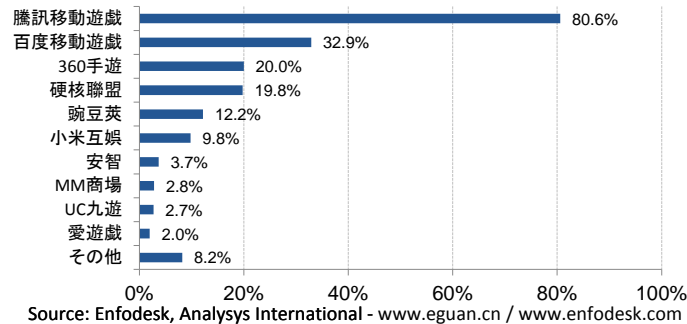
- 本レポートは、易観国際及び易観国際グループ各社(以下「易観国際」といいます)発行のニュースを、易観国際からの許諾に基づき、易観国際の日本における独占的な総代理店である株式会社クララオンライン(以下「クララオンライン」といいます)が日本語に翻訳したものです。本レポートに掲載された内容は発行時における易観国際の見解や予測を紹介するもので、予告なしに変更することがあります。易観国際及びクララオンラインはここに記載された情報が十分信頼に足るものと考えていますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 日本語版の本レポートのいかなる部分についても、クララオンラインの書面による事前の了解なく複製、再生、再発行、販売、配布、送信、回付、修正、表示したり、またいかなる目的でも使用したりすることはできません。これには二次的著作物を作成する際に本レポートを利用する場合も含まれますが、これに限定されるものではありません。クララオンラインの許可を事前に申請する際には <https://www.eguan.jp/contact> からご連絡ください。
- 本レポートでは中国とは中華人民共和国を指しており、台湾、香港特別行政区、マカオ特別行政区は含んでいません。
- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的としておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンラインコンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします

本レポートはクララオンラインコンサルティングサービスチームにより翻訳されたものです。クララオンラインの中国インターネットコンサルティングサービスに関するお問い合わせは以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。  
asia@clara.ad.jp または +81(3)6704-0777

## モバイルゲームストア、圧倒的人気は騰訊

易観智库がこのほど発表した「2015年第1四半期(1-3月)中国モバイルゲームストア季度監測報告」によれば、同期間中のユーザーカバー率トップは騰訊移動遊戯の80.6%で、2位の百度移動遊戯の32.9%を大きく引き離れた。

2015Q1 中国モバイルゲームストアユーザーカバー率



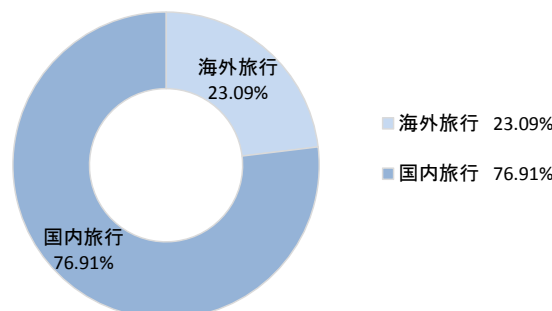
易観智库の分析によれば、騰訊移動遊戯は微信とQQの膨大なユーザーが支えとなっており、中国のモバイルゲームユーザーのおよそ80%が利用している。2位の百度移動遊戯も検索エンジンの百度やアプリストアのユーザーが主な利用者となっている。4位の硬核聯盟はOPPO、vivo、酷派、金立、聯想、華為のスマートフォンメーカー6社が2014年8月に共同で立ち上げたもので、3位の360手遊にもわずか0.2ポイント差で迫っており、今後トップ3に食い込むことが期待される。

ユーザーのゲームの質に対する要求はますます高くなっており、モバイルゲームストアの競争も激化している。また小米を代表とするハードウェアメーカーが、自身の人気を武器に市場シェアを拡大していくことが予想される。モバイルゲームにおいてもIPを重視する風潮が高まっており、質の良いゲームの登場が期待される。

## オンライン家族旅行予約動向、4分の1が海外へ

易観智库がこのほど発表した「2015年中国オンライン家族旅行市場專題研究報告」によれば、様々なオンライン旅行商品の中で家族旅行が最も市場成長スピードが速く、海外旅行の比率も全体の23.09%と高いことが分かった。

2015年4月 オンライン家族旅行商品 行き先別予約比率



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

親子での旅行をオンラインで手配する風潮は 2012 年頃から始まり、市場は急速な成長を続けている。旅行サイトは家族旅行に特化したコンテンツを増やしており、家族旅行に特化したプランも登場している。中国では間もなく夏休みを迎えることから、主要 OTA 各社が家族旅行商品の販売に力を入れている。

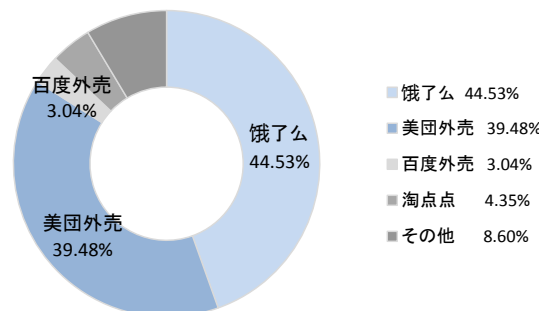
易観智库の分析によれば、人気があるのは海外旅行や短期留学プランのついた旅行で、一部の OTA 会社は子供に人気のあるテレビ番組と協力した旅行商品を打ち出して差別化を図っている。

しかし現在市場の大半を占めるのは 2-3 日間の短期旅行で、子供向けのレジャー施設を訪れるプランが多い。またオンライン家族旅行の利用客は団体ツアーよりも自由旅行を好む傾向があり、客単価は 1 人 1 日あたり 500 元程度にとどまっている。

## ネット食品デリバリーサービス、大学市場は二強が制覇

易観智库がこのほど発表した「2015 年第 1 四半期（1-3 月）中国インターネット食品デリバリー市場季度監測」によれば、同期間中の大学キャンパスからの注文総数は 1.18 億件で、市場全体の 67%を占めていることがわかった。

15Q1 ネット食品デリバリーサービス 大学キャンパス市場シェア



Source: Enfodesk, Analysys International - [www.eguan.cn](http://www.eguan.cn) / [www.enfodesk.com](http://www.enfodesk.com)

サービス別でみると、大学キャンパス市場では饿了么が全体の 44.53%、美团外卖が 39.48%のシェアをそ持ち、二大勢力となっている。

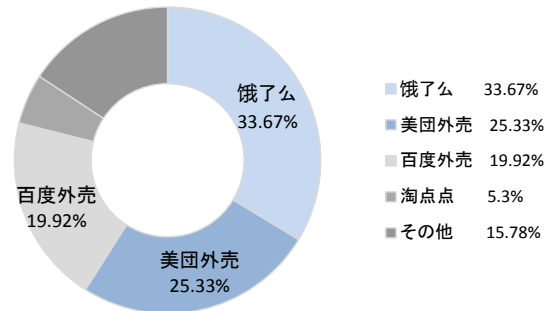
饿了么は 2009 年 4 月のサービス開始から大学キャンパスへの配達をスタート。美团外卖も 2013 年末にサービスを始めて以来、大学キャンパスをターゲットにして急成長を遂げている。なお両社とも複数回に渡って大規模な融資を受けており、今後の動向が注目される。

## ネット食品デリバリー、会社員の利用 3 割に

易観智库がこのほど発表した「2015 年第 1 四半期（1-3 月）中国インターネット食品デリバリー市場季度監測」によれば、ホワイトカラーを中心とした会社員による同期間中の注文総数はおよそ 5000 万件で、市場全体の 28.5%を占めていることがわかった。

サービス別でみると、饿了么が全体の 33.67%、美团外卖が 25.33%、百度外卖が 19.92%のシェアをそれぞれ持っている。トップ 3 のシェアは全体の 8 割ほどにおよぶ。

### 15Q1 ネット食品デリバリーサービス 会社員市場シェア



Source: Enfodesk, Analysys International - [www.eguan.cn](http://www.eguan.cn) / [www.enfodesk.com](http://www.enfodesk.com)

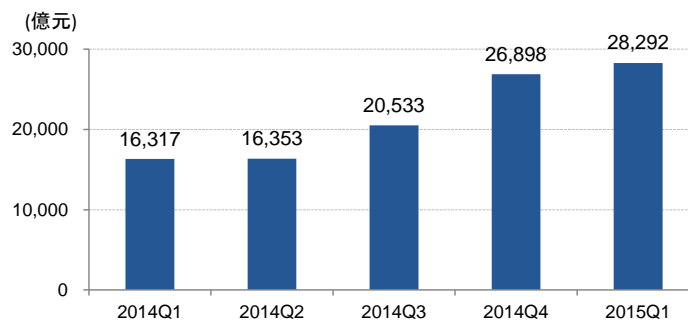
易観智库の分析によると、会社員の利用は市場全体から見るとまだ大きくはないが、食品の品質やデリバリーのスピードについてニーズが高いという特徴がある。

今後の競争の鍵を握るのは、サービスの運営効率とユーザー体験の良さで、チェーン展開をしたり提携企業を増やしたりすることが、売上拡大につながりそうだ。

## モバイル決済、第1四半期は3兆元に迫る勢い

易観智库がこのほど発表した「2015年第1四半期（1-3月）中国第三者決済サービス市場 季度監測報告」によれば、同期間中のモバイル決済の取引規模は2兆8292億元で、前期より5.18%増加した。

### 14Q1-15Q1 中国モバイル決済サービス取引規模

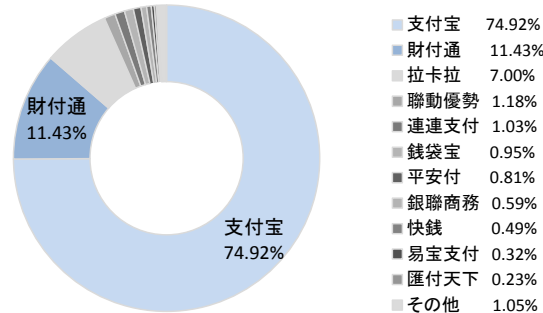


Source: Enfodesk, Analysys International - [www.eguan.cn](http://www.eguan.cn) / [www.enfodesk.com](http://www.enfodesk.com)

取引規模はECの影響を大きく受けるため、今期の伸び率は前期より小さかった。しかしモバイル決済の習慣は広く浸透しており、リピート利用も増えている。取引規模から見た市場シェアは支付宝が74.92%、微信支付を含む財付通が11.43%だった。

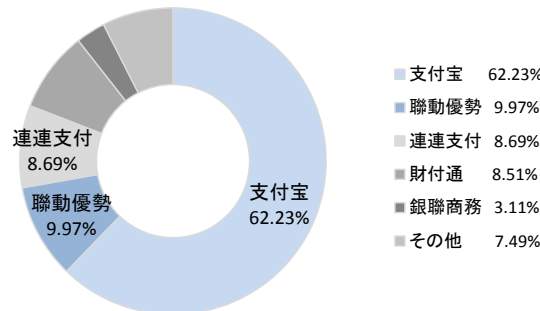
またモバイルアプリを使った取引規模は3348億元で、支付宝が62.23%のシェアでトップだった。2位以下は聯動優勢が9.97%、連連支付が8.69%と続き、財付通は8.51%で4位にとどまった。特にインターネット金融や交通・旅行といった分野での利用が多く、決済アプリはいずれも好調な成長を遂げている。

15Q1 中国モバイル決済サービス市場シェア(取引額別)



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

15Q1 中国モバイル決済アプリ市場シェア(取引額別)

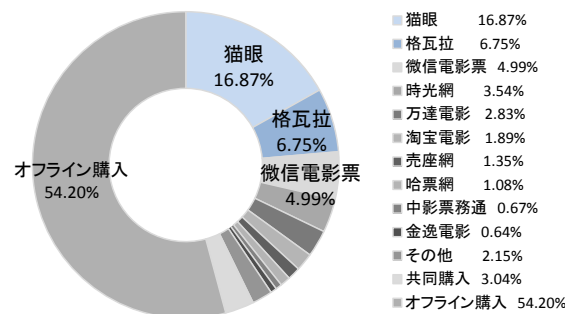


Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

映画観賞券の販売、オンラインが 45.8%占める

易観智库がこのほど発表したデータによれば、映画観賞券のオンライン販売を行う事業者は現在 40 社を超えているが、年間売上が 3 億円を超える事業者は 10 社にも満たないことがわかった。

2014年 中国の映画観賞券販売市場シェア



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

映画観賞券の販売において、オンラインでの販売は全体の 45.8%を占める。販売事業者別では、猫眼が 15.87%で最もシェアが多く、続いて格瓦拉が 6.75%、微信電影票が 4.99%で、トップ 3 で市場のおよそ 4 分の 1 を占めている。

猫眼は特にモバイルでの販売が全体の 75%以上に上っており、全国 300 都市にある 3000 の映画館をカバーする。2 位の格瓦拉は映画観賞券以外に、コンサートや演劇のチケット

も扱っているが、映画観賞券が売上の90%以上を占める。微信電影票は若者に人気の微信(WeChat)のチケットサービスで、微信の2014年末時点のアクティブユーザー数は3.83億人となっており、今後の利用拡大が期待される。

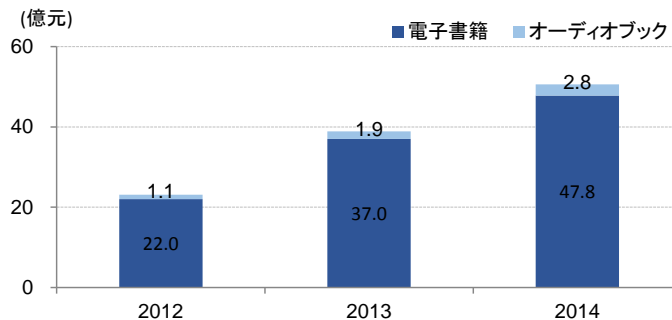
易観智库の分析では、市場ではサービスの同質化が深刻となっており、キャンペーンで顧客を獲得するしかない厳しい競争が続いている。また大都市にサービスが集中しているため、市場で生き残るためには地方の中小規模都市にもサービスを拡大していく必要があるだろう。百度(Baidu)が2015年1月にチケット販売事業に乗り出しており、オンライン上で座席指定ができる新たなサービスを始めるといううわさもある。阿里巴巴や騰訊もそれぞれ映画観賞券の販売を始めており、市場の競争は更なる激化が予想される。

## 電子書籍市場、オーディオブックに注目集まる

易観智库がこのほど発表した「2015年中国モバイル電子書籍市場年度報告」によれば、2015年上半期(1-6月)の同市場の規模は48.6億円で、2014年下半年(7-12月)に比べ5.7%増加した。市場は引き続き好調な成長を続けているが、成長幅は縮小している。

易観智库の分析によれば、モバイル電子書籍の売上における通信キャリアの取り分は2012年時点で売上全体の63.4%を占めていたが、2013年には59.2%、2014年には54.1%と縮小が続いている。

2012-2014年 モバイル電子書籍市場の売上比率



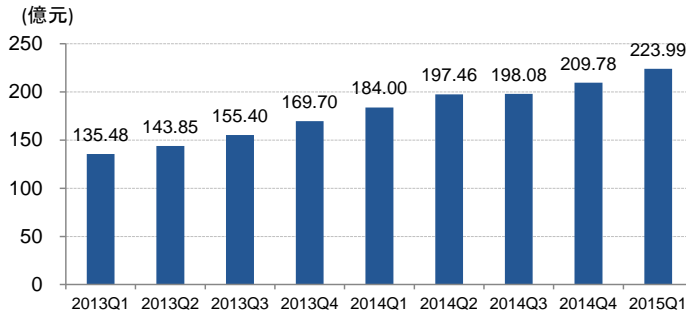
Source: Enfodesk, Analysys International - [www.eguan.cn](http://www.eguan.cn) / [www.enfodesk.com](http://www.enfodesk.com)

またモバイル電子書籍市場は通常の電子書籍と文章を読み上げるオーディオブックで構成されており、オーディオブックの売り上げが徐々に伸びている。幼児向けの読み聞かせ作品のほか、目の不自由な人を対象にした作品が多いが、最近では自動車の運転中や寝る前に聞くといった新たなニーズが生まれている。電子書籍を扱うサイトの多くがオーディオブック専門ページを設けており、電子書籍に続く大きな市場として期待が持てそうだ。

## 騰訊：第1四半期の売上224億元

騰訊はこのほど2015年第1四半期(1-3月)の財務報告書を公開した。同期間中の売上は前年同期比21.7%増の223.99億円で、米国会計基準に準拠しない(Non-GAAP)会計処理において、親会社株主に帰属する当期純利益は同35.8%増の70.53億元だった。

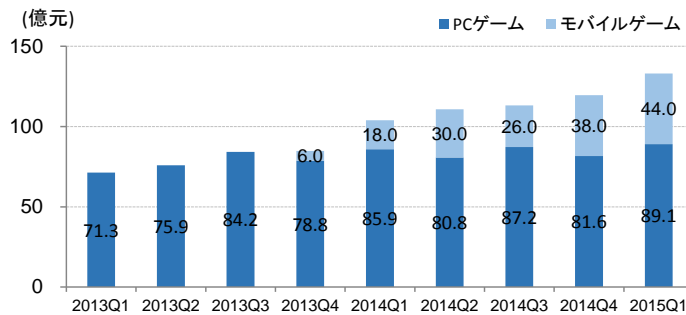
### 2013Q1-2015Q1 騰訊売上規模



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

事業別ではゲーム事業の売上が 133.13 億元で、前期比 11.3%、前年同期比 28.2%それぞれ増加した。特にモバイルゲームが順調で、売上は 44 億元に上った。

### 2013Q1-2015Q1 騰訊ゲーム事業の売上構成



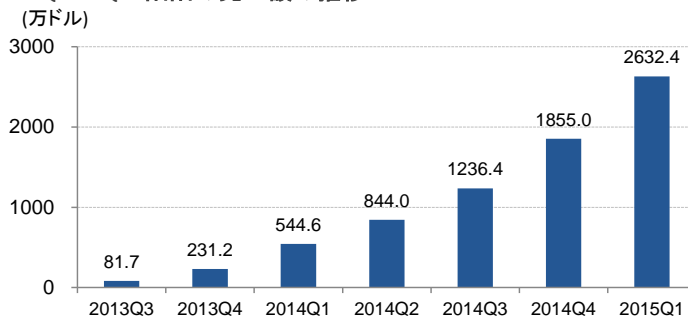
Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

また広告事業の売上は 27.24 億元で、前期比 3.7%、前年同期比 131.4%それぞれ増加した。QQ のアクティブユーザー数は 8.32 億人で、前年同期より 1.9%減少した。微信との合計アクティブユーザー数は 5.49 億人で、こちらは同 38.6%の増加となった。

## 陌陌が好調、モバイルからの売上 20741%の増加

位置情報を使ったデートアプリ「陌陌 (Momo)」を運営する北京陌陌がこのほど発表した 2015 年第 1 四半期 (1-3 月) の財務報告によれば、同期間中の売上は 2632.4 万ドルで、前期に比べ 41.9%、前年同期に比べ 383.3%それぞれ増加した。純利益は 670 万ドルで、2011 年の設立以来、初めての黒字となっている。

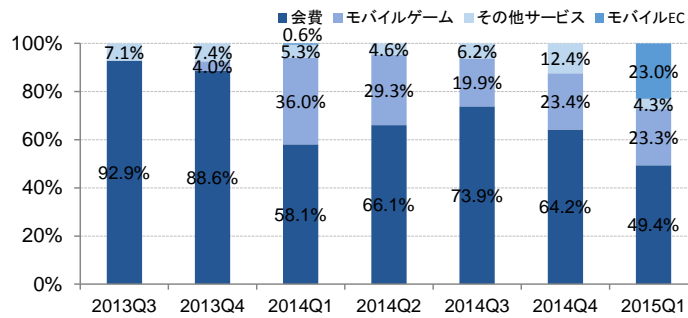
### 13Q3-15Q1 陌陌の売上額の推移



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com



13Q3-15Q1 陌陌の売上構成



Source: Enfodesk, Analysys International - [www.eguan.cn](http://www.eguan.cn) / [www.enfodesk.com](http://www.enfodesk.com)

易観智库の分析によると、会員による課金売上が前年同期比 311.3%増の 1302.1 万ドルと好調に伸びている。これは会員数の大幅な増加によるもので、今年 3 月末時点の会員数は同 138.5%増の 310 万人に達している。

またモバイルゲームの売上も大きな柱の一つとなっており、同期間中のモバイルからの売上は前年の 2.9 万ドルに対して 20741.4%増となる 604.4 万ドルにまで膨れ上がっている。有料スタンプやプレゼント専門のオンラインショップの販売も好調で、前年同期の 17.1 万ドルから今期は 112.5 万ドルまで売上を伸ばした。今後は生活サービスプラットフォームとの提携を強化することで、短期間に大量のコンテンツや情報を取り込む準備が進められており、引き続き利用者の増加が期待できそうだ。